



総合型選抜(資料解釈型)入試で実施する「総合問題」について

出題の基本方針

解くのではなく、考えることに重点を置いた問題を出題します。図や表から、そこにある情報を読み取る力が試される問題であり、それについて自分の考えたことを文章で表現する力をみる問題ということになります。設問数は5問程度で、選択式と記述式(計算も含む)の両方です。

前年度(令和2年度入学生用)指定校・公募推薦Ⅰ期の出題内容
医学研究や保健統計などを題材にした問題が出題されました。

問 題

6月のある日に、立食パーティーが催された。パーティーでは、好きなものを自分でとって食べる方式であった。参加者は200人で、夕方から2時間程続いた。翌日の朝から強い腹痛と水様性の下痢を訴える人が出始め、合計90人が医療機関を受診し、食中毒と診断された。

最寄りの保健所が直ちに食中毒の原因食品を突き止めるために、パーティー参加者全員に喫食状況の聞き取り調査を行った。

次の【表1～8】のクロス表は、食中毒発病者と非発病者の喫食状況を示したものである。このクロス表を参考にして設問に答えなさい。

なお、このデータは全て仮想のものである。

(注)喫食：食べること(飲むことを含む)

【設問1】ゆでであるポテトが原因食品である可能性について説明しなさい。

【設問2】今回の食中毒の原因食品として最も可能性のある食品はどれか。食品名で答えなさい。

【設問3】設問2で答えた食品はどのような根拠によるものか説明しなさい。

【設問4】今回の食中毒の原因菌として最も考えられるのはどれか。【表9】の中から1つ選び、原因菌の名称で答えなさい。また、その根拠を説明しなさい。

【設問5】食中毒を予防するにはどうすればよいか、あなたの考えを述べなさい。

【表1】ゆでであるポテトの喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	63	27	90
非発病者	77	33	110

【表2】ビーフステーキの喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	72	18	90
非発病者	70	40	110

【表3】ゆでである人参の喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	60	30	90
非発病者	66	44	110

【表4】パンの喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	52	38	90
非発病者	68	42	110

【表9】食中毒の原因菌の特徴

原因菌	特徴
ブドウ球菌	化膿創、手指に分布。潜伏期間は約3時間
サルモネラ菌	家畜などに分布。潜伏期間は1日～3日
腸炎ビブリオ	真水には分布しない。潜伏期間は12時間前後
病原性大腸菌	多数の食品、井戸水に分布。潜伏期間は1日～数日

【表5】米飯の喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	54	36	90
非発病者	66	44	110

【表6】ハムのサンドイッチの喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	30	60	90
非発病者	22	88	110

【表7】鯛の刺身の喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	81	9	90
非発病者	11	99	110

【表8】コーヒーの喫食状況 (人)

	食べた	食べない	合計人数
食中毒発病者	61	29	90
非発病者	70	40	110



学校推薦型選抜(指定校制・公募制)入試の筆記試験「基礎学力試験(生物基礎科目のうち、人体に関する基礎的な内容を出題)」について

出題の基本方針

看護学では、健康な人の身体や心、生活などについて多面的に学びます。そして、健康を障害された人の病態や生活、その支援方法について、さらに深く学んでいきます。看護学を学ぶ基礎として、人の身体のしくみや働きを理解しておくことは大切です。

学校推薦型選抜入試では、「生物基礎」の範囲から人体に関する基礎的な内容を中心に出题します。

教科書の用語を暗記するだけでなく、言葉の意味を理解してください。教科書や参考書に載っている図、表、グラフ、写真などと用語の説明文章とを関連させながら理解していくと良いでしょう。身体の名称や働きを示す言葉には、それぞれ意味があります。説明できる力を期待しています。

看護学を学ぶにあたり、人の身体に興味をもって、理解を深めていただければと思います。